

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第10号 2006年10月

事務所：〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL/FAX 0952-28-2077

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

URL <http://www2.odn.jp/unicef-saga/>

♫ ↑ ♫ 支部通信はホームページでもご覧いただけます

ユニセフ学習会
～体験しました～

「アロマ村のコーヒー農園」



8月18日(金) アバンセにて(佐賀市どん3の森)

① ワークショップ 「一杯のコーヒーの向こうに」

ファシリテーター：地球共育の会 副代表：松本 亜樹さん

* 私たちが飲む香り高い一杯のコーヒー。どのように生産され、どうやって私たちの手元に届くのか？生産者はどのような暮らしをして、何が問題なのか？などを考えました。

② 「チョコレートって何？」

* カカオ農園で働く子どもたち

○ 台風10号もものかは、長崎市、飯塚市、大川市など佐賀県外から来られた方も含めて39名の皆さんはグループ毎に役割を決めて楽しく学習をしました。



参加者の声

- ☆ 初めはみんな仲良く助け合って平和な村だったのに、エスプレッソ社の人 came ことで、欲が出たり疑い深くなったりして人を信じられなくなってしまった。村の平和がこわされていったと思った。
- ☆ 自分が実際生産者になり、利益や損などを自分のこととして体験する事ができハラハラしたり、喜んだりしてとても面白く、また、とらえやすかった。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ☆ 『見えないつながり』は『見ようとしないと見えてこない』という、松本さんの話を心にとめておきたい。
- ☆ こんな研修を受けたのは初めてだったので新鮮でよかったです。いつもとは違う点から世界を見つめることができました。
- ☆ 「せめて子どもに教育を」という思いがなかなか実現達成できず、未来を感じる事ができなかったです。

- ☆ 「一杯のコーヒー」「一粒のチョコレート」の先には、いろいろな人や世界につながっているということが大変よく分かった。
- ☆ コーヒーひとつをとっても、世界のいろいろな国々と結びついていると思った。コーヒーは一つの例であって、日本人の生活そのものといってもいいと思う。それなのに、私たちは、遠く見えない人々や子どもたちのことをあまり知らな過ぎる。まずは、その思いに寄り添えるような人にならなければと思った。
- ☆ 「見えないつながり」その存在を今日のワークショップを通して確認することができた。普段なにげなく食べているものや飲んでるもの、それが私たちの手元に届くまでには、様々なそして多くの人々がかかわっているんだなと思った。
- ☆ ぜひ、中学生に今日のことを伝えたいと強く思いました。たった一粒のチョコレートの裏側を少し知って、涙が出てしまいました。

アンケート結果

アンケート回収 30/39

回収率 77%

- ワークショップ「一杯のコーヒーから」の内容はいかがでしたか？

1. よかった 30 (100%) 2. よくなかった 0 3. どちらともいえない 0

- どんな点が？

- ☆ 私も毎日のようにコーヒーを飲みますが、そのコーヒーについて深く考えたことがなかったため、よい勉強の機会になりました。ビデオを見たりお話を聞いたりいろいろ考えさせられ勉強になりました。
- ☆ 自分のことを見つめなおすことができました。
- ☆ 大変よかった。自然に分かりやすく世の中の仕組みが理解されたところ。
- ☆ 松本先生のファシリテーターがとってもすばらしく、あつという間の時間でした。先生が言われた「目に見えないもの」に気づく、「見ていくこと」の大切さを感じた貴重な時間でした。ありがとうございました。
- ☆ 松本亜樹先生ありがとうございました。ビデオを見て涙が出てとまりませんでした。自分でできることを少しでも世界の子どもたちの為に役立ちたいと思います。
- ☆ シミュレーション方式なのでよかった。参加者と話をしながらできたのもよかった。
- ☆ こんな研修を受けたのは初めてだったので新鮮でよかったです。いつもとは違う点から世界を見つめることができました。
- ☆ 自分を内から見つめなおすことができた。
- ☆ 普段何気なく飲んでるコーヒーを通して、自分からは遠いところにいる人たちのことや流通のしくみ等を考える機会をいただきました。こんなふうに身近にあるものを意識してみれば、今まで気づかなかったことを知ることができ、自分の生き方をふり返ることにつながっていくのだと思いました。ありがとうございました。
- ☆ 日ごろ、何気なく過ごしていることに感謝できました。子どもたちに伝えなければなりませんね。
- ☆ コーヒーからこんなに頭を使うなんて驚きました。「見えないものを見る」ように、きっかけを作ってくださいましたことに感謝！！
- ☆ シミュレーションすることにより、現地の様子を少し感じる事ができた。計算できなくなり、ちょっと分からなくなりましたが・・・。
松本先生のワーク、とても良かったです。勉強になりました。
ありがとうございました。



世界の子どもたちは、今



© UNICEF/Jim Holmes

人身売買の被害にあったが、保護され、ラオスの自宅に戻った女の子

<ラオス> 人身売買の標的 消えない傷



ラオス人民民主共和国

1. 面積 24 万 K m²
 2. 人口 560.9 万人
(2005 年 3 月)
 3. 首都 ビエンチャン
 4. 言語 ラオス語
 5. 宗教 仏教
- (外務省ホームページより)

ラオスは、中国、ミャンマー、タイ、ベトナム、カンボジアと国境を接する内陸国で、17 県のうち 16 県が隣国と接しています。ラオスの社会的・経済的指数は隣国と比べ随分と低い数値を示しています。メコン川を挟んで長い国境を共有しているタイとの間には、人の往来、交流も非常に盛んで、国際結婚が見受けられ、一方では不正な物のやりとりが行われていると言われていています。しかし、そのすべてを把握し、パトロールすることは不可能なのが実情です。

ラオスでは、閉鎖的な自給経済から市場経済へ移行する過程で、近隣諸国との関係が深まる一方、今まで直面しなかった多くの問題にさらされることになりました。

人口の約 50%を 18 歳以下の若年層が占める同国では、隣国と比べ経済状態が良くないことから、子どもたちの人身売買（特に女の子）が深刻化しています。被害に遭った数千にもものぼる女の子は、決して消えることのない精神的ダメージを負い、運良く保護されたとしても、その後もトラウマ（心的外傷）に悩まされ続けます。

被害者の多くは、もっと稼げる仕事を紹介するから、とそそのかされ、家や故郷を離れた人たちです。実際、とりわけ遠隔地の村では十分な職も、高等教育が受けられる学校もなく、若者を村にとどまらせることが難しいのが実情です。そして人身売買に対する認識の甘さから、そのターゲットになりやすいのです。身近な知り合いや、信頼を寄せる身内が実は人身売買仲介者だったというケースもあります。

ユニセフが支援した国内調査の結果、人身売買への早急な対策が必要であることが浮き彫りになりました。特に 12 歳から 18 歳の女の子の被害が深刻で、その多くが家事、工場労働をさせられ、搾取される被害に遭っています。ユニセフは、政府や諸団体と協力しながら、広報活動を広く行い、特にターゲットになりやすい女の子向けに定期的に集会を開き、被害を未然に防ぐ活動をしています。

一方で、残念ながら被害に遭ってしまった子どもたちの保護施設の設立に携わり、心のケアを行うカウンセラーの育成や、遠隔地に住む被害者支援を目的とした全国規模のネットワーク構築を進めています。

以上のように、ユニセフは、人身売買やその他の搾取を対象に、被害を受けやすく、潜在的な危険性を抱える子どもたちを保護する環境整備に努めています。

資料提供：(財)日本ユニセフ協会（2006 年 5 月 23 日、信濃毎日新聞掲載分）



ボランティア 富安 慶子さん (佐賀市)

私は以前国際交流のボランティアをした経験からボランティアの魅力を知り、その他の分野のボランティアもしてみたいなと思っていたところ、日本ユニセフ協会佐賀県支部をホームページで知り、ボランティアとして応募しました。使用済み切手の整理などによる募金集めから、学校等への出前授業、学習会の開催など様々な形で世界各地の子どもを支援する活動の一端に携わらせていただくことで、世界の現状について勉強することができ、自分自身の成長につながるので、この佐賀県支部での活動に参加できてとても良かったと思っています。何より、このような活動を地道に、そして活発に行ってこられたメンバーの方々や、ユニセフの活動を支援してくださる様々な方々との出会いが、私にとって何にも変えがたい貴重な経験となっています。まだまだほんの些細な作業でしか貢献できていませんが、自分のできることから少しずつ実践し、尽力していきたいと思っています。

かつどう ほうこく

- ◎ 7月2日(日) 「七夕・ジャズコンサート」会場にてパネル展・ジャワ島地震募金 (大川市文化センター)
- ◎ 7月15日(土) 長崎市ボランティア団体「DEPARTURE」募金贈呈式 (事務所)
- ◎ 7月27日(木) 佐賀県国際交流協会ジャワ島募金贈呈式 (佐賀県庁国際交流協会)
- ◎ 7月30日(日) さが市民活動プラザ第5回夏休み親子交流会 (佐賀市iスクエアビル)

テーマ：子どももおとなも遊び・遊ぶ・遊べ ユニセフすごろくで遊ぼう！

子どもが生まれてから大人になるまでのユニセフの支援活動をすごろくを通して体験していただきました。



◎ 8月1日(火) 佐賀県生協連合会「ピースアクション2006」～平和のつどい～
パネル展 ユニセフグッズ頒布 (佐賀市アバンセ)

◎ 8月18日(金) 第3回 先生のためのユニセフ学習会「一杯のコーヒーの向こうに」(佐賀市アバンセ)

◎ 9月7日(木)～8日(金) (財)日本ユニセフ協会地域組織学習担当者研修会 (東京ユニセフハウス)
佐賀県支部のユニセフ出前授業実践発表

◎ 9月14日(木) 東与賀町立東与賀中学校3年生ユニセフ出前授業 (佐賀郡東与賀町立東与賀中学校)

これは、佐賀県国際交流協会の「国際理解講座講師派遣事業」の一環として行いました。

東与賀中学校3年生の皆さんは、総合的学習の時間～Search for Life～「国際理解」の学習で、各自のテーマを持ち探求活動をしています。

「開発途上国・南北問題に関するテーマ」のAグループの学習と、「子どもにかかわるテーマ」のCグループの学習を佐賀県支部が担当しました。

* Aグループでは、人口問題・食糧問題・水資源・その他の問題等、様々な視点から学習しました。

* Cグループでは、子どもをテーマに、乳幼児の死亡・児童労働・HIV/エイズ・ストリートチルドレンなど様々な困難な状況下にある子どもたちの現状を学習しました。特にモンゴルにおける「マンホールチルドレン」の様子を詳しく伝え、同じ地球に共に生きるものとして自分とのかかわりを考えました。



[学習を終えて]

☆ 子どもをとりまく様々な問題は、子どもだけの問題ではなく、全て大人がかかわっているという事が分かった。

☆ 貧富の差がなぜ生まれるのか、子どもたちの心の内をもっと知りたい。今まで見ようとしなかったところにも目をむけていこうと思う。

☆ 先進工業国が必要以上に食料や水や資源を使っていると思った。自分だけよければ他人のことはかまわないということでもいいのかと改めて思った。

☆ 自分の持っている悩みがちっぽけなものに思えた。何をするにも感謝の気持ちを忘れないようにしようと思った。

☆ 同じアジアに暮らす私たちが、アジアの人口増加やエイズ、児童労働、ストリートチルドレンなどの問題を「知らなかった」ということが分かった。もっと詳しく調べてみたいと思う。

◎ 9月21日(木) 佐賀市立諸富北小学校4年生 (佐賀市立諸富北小学校)

ユニセフ高速インターネットによるT・T授業(Vチャット)

○ 諸富北小学校と日本ユニセフ協会学校事業部とをインターネットでつないで、4年生74名の皆さんはユニセフ協会の職員さんと直接交流して、一学期のユニセフ学習を更に深めました。



佐賀市 諸富北小学校パソコン室



東京 ユニセフハウス学校事業部

[学習を終えて]

- ☆ 東京にいる人と話せてすごいと思った。ドキドキした。いい経験になった。
- ☆ 小さい子どもが朝からハンマーを持って一日中岩をくわいて働いているのを初めて知った。三上さんから教えてもらってよかった。
- ☆ 三上さんと話せて、ユニセフのことがいっぱい分かってよかった。
- ☆ 緊張してカチカチに固まった。もっと聞きたいことがあった。

◎ 9月24日(日) さが国際交流・協力フェスタ2006 (佐賀市アバンセ)

「さが国際交流・協力フェスタ2006」において、ユニセフすごろく・パネル展・ユニセフグッズの頒布をしました。子どもたちや若い人たちがユニセフすごろくを体験され、ユニセフの活動の一端に触れていただきました。



大きなサイコロをころがして

奥：発育測定コーナー

パネル展

グッズ頒布コーナー

手前：ORS（経口補水塩）コーナー

◎ 9月28日(木) 東与賀町立東与賀中学校3年生事務所訪問

9月14日のユニセフ出前授業で学習したことを更に深めるために事務所で調べ学習をしました。

これからの予定

会場お近くの方はどうぞお出かけください。

ボランティアお手伝いをお願いできたらありがたいです！

1. 10月14日(土) 18:30～ 白石町有明スカイパークふれあい郷自有館
エイズ・ストップ・キャンペーン「シエナ・プラス佐賀公演2006」会場においてユニセフグッズの頒布
2. 10月15日(日)
 - ① 9:00～ 鳥栖市「健康福祉まつり」会場 コープさかのブースにおいて
パネル展&ユニセフグッズ頒布
 - ② 9:00～ 佐賀市三瀬町「三瀬ざっといかんばいマラソン」会場において
パネル展&ユニセフグッズ頒布
 - ③ 19:00～ 武雄市文化会館「シエナ・プラス佐賀公演2006」会場においてユニセフグッズの頒布
3. 11月3日(金) 9:30～16:00 三日月ふれあい公園・ドゥイング三日月
「小城市ふるさとまつり」においてパネル展、ユニセフグッズの頒布
4. 11月4日(土) 14:00～16:30 佐賀市どん3の森 アバンセ音楽スタジオ
「ユニセフのつどい」 詳しくはチラシをごらんください。
5. 11月11日(土) 10:00～15:00 佐賀市本庄小学校グラウンド
「かたりべの里本庄まつり」会場においてユニセフグッズの頒布

ご支援・ご協力ありがとうございました

武井電機工業株式会社様 佐賀子ども劇場様 国際ソロプチミスト佐賀西部様 立正校成会唐津教会様
 カイセイ薬局四ツ角店様 青嶺中学校様 キッズサポートたんぽぽ様 山小屋ラーメン様 鏡 STC 様
 長崎 DEPARTURE 様 コープさが生活協同組合様 佐賀県国際交流協会様 成瀬中学校様 吉原内科様
 佐賀リハビリテーション病院様 ようどう館佐賀校様 ようどう館大和校様
 雇用・能力開発機構佐賀センター様 カイセイ薬局荒江店様 佐賀市役所給付係様 (有)リフレイン様
 本庄公民館様 佐賀商業高校様 循誘公民館 ジャックス様 LOVE-FM 様 ワークステーション saga 様
 シュルンベルジュ(株)様 九電工労組佐賀支部様 佐賀市国際交流協会様 住友生命佐賀支社様
 勸興小学校様 第一生命佐賀支社様 (株)筑紫建設様 ビジネススクール佐賀校(有)イー・ニーズ

(2006年6月21日～9月30日)

* 様々な形でのご支援ご協力を感謝申し上げます。個人のみなさまからもたくさんのご支援を頂いていますが、平成17年4月1日からの「個人情報保護に関する法律」施行に伴い、個人のお名前の掲載は控えさせていただきます。

2006年秋・冬用 ユニセフカード&ギフトのご紹介

ユニセフ製品は、定価の約50%が世界156の国と地域におけるユニセフの現地活動資金等として、子どもたちのために役立てられます。
 残りの25%は製品の製作費、25%は管理運営費として使われます。



カードとギフト	「子どもとエイズ」	年賀はがき	10枚 500円	*月めくりウォールカレンダー	1300円
秋・冬号2006	世界キャンペーングッズ	和風カード(封筒付)	1枚 180円	*クリスマスカード各種取り揃えています。	
カタログ 無料	リストバンド 500円	他にも色々楽しい図柄がそろっています。		お早めに準備されてはいかがでしょうか。	

☆ 事務所には、他にも色々なカードやステーションナリー、知育玩具・絵本等を取り揃えています。お立ち寄りくださってぜひ一度ごらんください。カタログをご希望の方は事務所までお知らせください。

☆ はがき・カード類は佐賀玉屋デパート南館1階案内カウンター横でも取り扱っています。お買物のついで

にぜひごらんください。

日本ユニセフ協会会員募集



©UNICEF Pakistan/Zaidi

日本ユニセフ協会佐賀県支部では会員を募集しています。

(もちろん、県外の方もOKです)

会員として、世界の子どもたちのために、応援していただきませんか？

Q. 会員ってなあに？

- A. 世界の子どもたちを支援する日本ユニセフ協会を、会費によってご支援いただく方法です。会員登録をしていただき、ユニセフの機関紙やさまざまなユニセフの資料を通じて、世界の子どもたちのおかれている状況について理解を深めていただくことができます。また、佐賀県支部の活動情報を入手し、会員としてさまざまなイベントにご参加いただけます。

Q. 会費の種類は？

- A. 3種類あります。
- ① 一般会員…個人ならどなたでも入会できます。年会費は5,000円です。
 - ② 学生会員…18歳以上の学生の方が対象です。年会費は2,000円です。
*18歳未満の方は「ユニセフ子どもネット」にご参加ください。
 - ③ 団体会員…団体、法人、企業などが対象です。年会費は100,000円です。

Q. 会員の期間は？

- A. ①の一般会員と②の学生会員は、入会月から1年間です。
③の団体会員は、毎年4月から翌年3月までの1年間です。

Q. 問合せ先は？

- A. 事務所までお願いします。



(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部 (佐賀市水ヶ江4-2-2)

電話&ファックス 0952-28-2077

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

月・火・木の10:00~15:00の間はスタッフが常駐しています。(祝日は休み)

会員 **200** 名をめざして頑張っています。皆さまのご協力、お知り合いの方のご紹介を
いただけたら大変ありがたいです。よろしくお願ひします！！